

リンカーン・カースティンによる「アメリカン・バレエ」のプロデュース ー「アメリカン・バレエ」というレッテルー

小林園子

関西大学大学院 文学研究科

「アメリカン・バレエ」というフレーズは現在、G・バランシン (George Balanchine, 1904-1983) の作品や J・ロビンズ (Jerome Robbins, 1918-1998)、A・チューダー (Antony Tudor, 1908-1987) の作品に対して使われる。「抽象バレエ」と評されるバランシンから「心理バレエ」と評されるチューダーまで、「アメリカン・バレエ」はあらゆる特徴を内包する。ここでは「アメリカン・バレエ」のレッテルを貼る作業には、雑多なものを統合する力があると考え、「アメリカン・バレエ」という名付けがアメリカらしいバレエという括りを作ることで、雑多なものをバレエとして人々に認識させる事態が起こったのである。

「アメリカン・バレエ」の成立について、ここでは L・カースティン (Lincoln Kirstein, 1907-1996) をバランシンの美学を擁護した人物としてではなく、アメリカのバレエをバレエの美学の範疇で論じることができるよう整備した人物として捉え直したい。バランシンが作ったアメリカをテーマにした作品や素早い動きを持つ作品は「アメリカン・バレエ」のわかりやすい例であるが、カースティンは、これらが発表された時代には既にアメリカのバレエとロシアのバレエを意図的に区別しようとしている。1938年に「ロシア人による脅迫とアメリカバレエの不遇¹⁾」を論じ、『バレエ・インペリアル』(*Ballet Imperial*, 1941) については「アメリカのバレエではない。アメリカのカンパニーが踊るロシアのバレエだ²⁾」と論じたように、アメリカらしさとロシアらしさを区別するのである。

1951年にカースティンは「アメリカン・バレエ」を以下のように論じている。「アメリカのレパートリーは (中略) 新しいリズム、新しいハーモニー、音における形の新しいバランスにおいて、現代の最も優れた専門家の研究および発明から利

益を借りている。(中略) 私たちはポピュラー音楽とダンスフォームについてのキャラクターダンスには豊かさを持ち、これにはジェローム・ロビンズという一人の貢献がある³⁾。この文章ではここより以前に「派手なシャープさ」や「素早い動き」についても、「アメリカン・バレエ」の特徴として論じられている。この文章の前半部分では動きの素早さといった時間感覚を論じているにもかかわらず、後半の結論部分では「アメリカン・バレエ」が他ジャンルとの融合を可能にする新たなスタイルであることについて、ロビンズを例に論じる。

これを見るとカースティンが論じる「アメリカン・バレエ」に実際に横たわる共通項は曖昧で捉え難い。しかし、ここで注目しておきたいことは、カースティンがバランシンからロビンズまで共通項が曖昧なそれらを「アメリカン・バレエ」と名付けたという事実である。

「アメリカン・バレエ」というレッテル貼りは、バランシンやロビンズの作品を単独で特異なダンスではなく、ロシアの様式からは外れているものの「アメリカ風のバレエ」として受容できるという見方を引き起こした。

ヨーロッパのバレエ評はアメリカン・バレエ・シアター⁴⁾の団員が踊るダンスについて、(たとえクラシックの作品であっても)「アメリカのバレエ」的踊り方だと評した。一方で、現代的なテーマに回帰することがアメリカのバレエの特徴とするものもある⁵⁾。これまでヨーロッパやロシアで築かれたバレエの特徴を逸脱する雑多なダンスに「アメリカン・バレエ」というレッテルを貼ることは、それらをあらためてバレエとして受容する道筋を提示する作業であった。

カースティンは、バランシンからロビンズまで雑多な特徴を持つダンスを“アメリカ”を使って統率しようとした。そこでは「アメリカン・バレエ」というレッテル貼りが効果を示した。この名付けの作業は、ロシアバレエとは異なる構造、テーマ設定、メソッドのダンスをバレエの範疇として受容させる事態をもたらしたと言えるのである。

¹ Lincoln Kirstein, *Blast at Ballet: A Corrective for the American Audience*, New York, 1938, p168, 筆者訳

² Lincoln Kirstein, *Ballet: Bias and Belief*, New York, 1983, “*The American Ballet in Brazil, Argentina*”, 1941, p77 筆者訳

³ Lincoln Kirstein, *What Ballet is About*,

New York, 1959, p412, 筆者訳

⁴ Clement Crisp “Ballet Stars of America.” *Financial Times*, 9 July 1981, p.21, Financial times Historical Archive

⁵ Cyril W. Beaumont “Modern Ballet” *Times*, 10 Apr, 1942 p6, The Times Digital Archive